

平成25年度当初予算 未来への挑戦重点事業等の要求概要

平成24年12月
青森県企画政策部

平成25年度未来への挑戦重点枠事業等の要求概要

(単位：事業、千円)

戦略キーワード別事業 計		92	1,332,416
戦略キーワード	雇用の創出・拡大	50	810,486
	(1) 次世代成長産業の創出	23	359,099
	(2) 世界を見据えたヒトとモノの交流促進	27	451,387
	低炭素・循環型社会の実現に向けた取組の強化	10	101,282
	あおもり型セーフティネット	13	248,502
	志を持ち、青森県を創造する人財の育成	19	172,146
地域別計画推進事業 計		28	110,706
地域別計画	〈東青地域県民局地域別計画〉	3	9,268
	〈中南地域県民局地域別計画〉	5	22,971
	〈三八地域県民局地域別計画〉	5	15,452
	〈西北地域県民局地域別計画〉	6	32,087
	〈上北地域県民局地域別計画〉	5	22,378
	〈下北地域県民局地域別計画〉	4	8,550
庁内ベンチャー事業 計		2	16,843
未来デザイン県民会議 計		2	13,824
市町村元気事業 (※1)		1	300,000
新規事業要求額 (a)		125	1,773,789
継続事業要求額 (b) (※2)		167	1,481,249
重点枠事業等要求額合計 (a+b)		292	3,255,038

※1 復興関連基金 100,000千円含む

※2 復興関連基金 81,112千円含む

戦略キーワード1 雇用の創出・拡大

【事業数50、事業費810,486千円】

雇用の安定や創出を図り、若者をはじめとした人口の県外流出を防ぐためには、地域資源を最大限活用した産業基盤の強化と県外・海外との取引拡大などによる、生業づくりと所得の向上を図っていく必要があります。

そのため、本県の持つ様々な地域資源を活用し、人口減少及び高齢化に対応したライフインノベーション産業や「食」産業など、次世代の成長産業の創出に取り組みます。

また、本県の安全・安心、観光、文化、自然、県産品などに関する情報を積極的に発信し、効果的かつ効率的な方法で誘客促進や県産品の取引促進を図り、ヒトとモノの交流促進に取り組みます。特に、青森から世界を見据え、主にアジア地域をターゲットとして、国内でのノウハウなどを生かし、本県に関する情報についてストーリー性を持たせ戦略的に発信するなど、インバウンドと輸出対策の強化に取り組みます。

(1) 次世代成長産業の創出 【事業数23、事業費359,099千円】

<地域資源を活用した成長産業創出> 168,485千円

これまでの本県の地域資源を活用した取組の中から、ライフインノベーション産業など、本県独自の新たな産業を生み出す環境が整ってきていることから、更に取組を進めていく。

- ① 次世代環境自動車関連技術集積事業（商工）**

県内企業の自動車産業への参入機運の醸成、地域企業の競争力の強化（技術力の向上、経営力、提案力の向上）を図り、自動車メーカーや基幹部品メーカー等との取引拡大による地域産業の活性化、雇用の創出につなげる。

20,894 千円
- ② 農工連携成長産業化支援事業（商工）**

農業者とものづくり企業のマッチング、食品加工以外の新規取組の増加、国による事業計画づくりなどを推進し、農商工連携に取り組む企業の増加や事業化の進展を図り、工業の力を農業に活用することにより工業生産額の増加や農業の高度化・成長産業化を目指す。

10,614 千円
- ③ 新時代ITビジネス推進事業（商工）**

クラウドコンピューティングの進展に対応して県内IT企業のクラウド技術等新技術を活用した事業化を促進するとともに、IT企業間、他業種、他産業との連携等による取引拡大、技術レベル向上による県内IT企業の競争力強化を図る。また、県内IT企業の県内情報系学生に対する認知度向上により人財の確保・定着促進を図る。

32,339 千円
- ④ 青森ライフインノベーション戦略推進総合対策事業（商工）**

青森ライフインノベーション戦略に基づき、多様な地域資源など本県の優位性を生かした次世代型ライフ分野（医療・健康・福祉（介護））関連産業の創造と集積による、地域産業経済の活性化と雇用の創出を図る。

90,322 千円
- ⑤ 建設業地域連携・地域貢献ビジネス創出事業（県土）**

意識啓発フォーラムや、地域の課題や強みを共有して検討するワークショップを開催することなどにより、建設企業における、これまでにない新分野として、地域に根ざした次世代の成長産業の創出を図る。

4,684 千円

- ⑥ **あおもりEV・PHV事業化促進事業（エネ局）** 9,632千円
 県内事業者による事業化可能性が期待されるコンバートEV（改造電気自動車）ビジネスの実現に向け、コンバートEVの製作・研修・実証を行うとともに、関連事業者や研究機関等で構成するビジネス研究会を組織し、情報交換や課題整理、技術研究等を行う。

<成長産業「食産業」の充実と強化> 97,700千円

本県の比較優位産業である「食産業」については、更なる成長が期待できることから農商工連携による農業の高度化などを含め、総合的に取組を進めていく。

- ① **フラッグシップ製品創出事業（農水）** 40,300千円
 首都圏マーケット等を狙って商品化を検討する県内企業を対象に、首都圏マーケットやニーズを見据えたキーポイントに関するノウハウ習得や、有力な製品の集中的なPR活動の展開によるフラッグシップモデル製品の創出、通信販売対応型製品のモデル創出等に取り組む。
- ② **あおもり米新品種「特A」プロジェクト事業（農水）** 5,400千円
 県産米の食味ランキング「特A」取得のため、有望2系統での「特A」取得をめざして良食味栽培技術の集中的導入や、日本穀物検定協会への供試米の最適加水量の把握及び適正な乾燥・貯蔵を行う。
- ③ **りんごニーズ対応型ビジネス拡大事業（農水）** 4,900千円
 りんごを活用した商品づくりを行う実需者のニーズに対応したりんごビジネスの拡大を図るため、先行して取り組んでいる生産者の協力による意欲ある生産者への研修を行うとともに、実需者との交流・関係構築を進め、新たな取組事例を創出する。
- ④ **新技術を活用した和牛産肉能力向上対策事業（農水）** 10,000千円
 県内和牛のうまみ成分や枝肉重量に着目した和牛改良方針策定やうまみ成分を増やすための飼育管理方法の普及を図るため、基礎雌牛のうまみ成分や枝肉重量に関連する遺伝子の保有状況の調査及びデータ収集を行うとともに、市場に出荷された黒毛和種肥育牛のうまみ成分測定や飼育管理状況の調査等を行う。
- ⑤ **あおもり型地域飼料資源活用推進事業（農水）** 12,800千円
 飼料コストの低減や飼料の供給安定を図るため、飼料用米や野菜残さを原料とした地域飼料の製造実証試験・給与試験を実施するとともに、地域飼料の利活用の誘導や、地域飼料利用畜産物のPR活動を行う。
- ⑥ **業務用加工食品利用拡大支援事業（農水）** 4,600千円
 県産農林水産物を原料とした業務加工食品の利用・取引拡大を図るため、実需者ニーズ調査及び業務用加工食品生産状況調査を実施するとともに、業務用加工品情報の発信・展示商談会、商品開発・改良を目的とした評価・アドバイスを開催する。
- ⑦ **ほたてがい養殖付着生物対策事業（農水）** 2,000千円
 ホタテガイ養殖施設への付着生物の軽減による養殖の効率化を図るため、付着生物の生態把握やフィールド調査を行い、その結果を基に養殖施設への付着を軽減する技術を開発し、県内養殖業者への普及を行う。

- ⑧ 夏の陸奥湾活ほたてがい提供促進事業（農水） 8,500千円
ホタテガイの貝毒が発生しやすい夏季に、安全・安心なホタテガイを提供するため、民間検査機関の機器分析精度の実証を行うとともに、毒成分毎の毒化予測手法の確立と応用について検討する。

- ⑨ 緊急やりいか増殖場機能回復事業（農水） 9,200千円
やりいか増殖場の付着生物による増殖機能低下の可能性が考えられることから、やりいかの資源回復のため、やりいか増殖場の実態把握・不漁原因の究明を行うとともに、機能回復技術の開発・実証を行う。

<地域産業の形成・活性化> 92,914千円

創業・起業の支援や企業誘致などに取り組むとともに、地域に必要な人財の育成を行うなど、地域産業の形成・活性化を図る。

- ① ICTによる電子情報利活用推進事業（企画） 10,848千円
公共データの利活用を促進するため、「オープンデータあおもり戦略（仮称）」の策定を進めるとともに、民間と連携した活用方法の検討を行う。また、視覚・聴覚障害者等のICT利活用を支援し、情報提供のバリアフリー化を図る。

- ② 商学連携・地域あきんど事業（商工） 7,830千円
商店街と学生が連携して商店街活性化プランを策定するとともに、魅力と個性などがあふれる「きらっとひかる」店を学生が発掘して公表する。また、若手後継者など地域あきんどのステップアップを図る講座を開催し、商店街の活性化や今後の県内商業における人財育成を図る。

- ③ 商店街を核とした生活拠点創造事業（商工） 10,265千円
商店街を地域が求める生活機能を支える拠点とするためのモデルを構築するとともに、商店街を核とした生活拠点の創造について認識を共有し、取組意識の醸成を図るためのセミナーを開催し、商店街の活性化や魅力の創出につなげる。

- ④ 新幹線開業効果活用型地域産業創出事業（商工） 4,439千円
北海道新幹線奥津軽（仮称）駅開業を見据え、開業効果活用産業創出フォーラムを開催し機運の醸成を図る。また、地域資源活用による新幹線開業効果創出をテーマとしたワークショップを実施するとともに、地域産業創出の実現化に向けた新商品・サービスの開発、販路開拓等の支援を行う。

- ⑤ ターゲット産業立地推進事業（商工） 30,745千円
食品、情報通信、環境・エネルギー、医療・健康・福祉、自動車の5分野を企業誘致の重点ターゲットとして位置付け、戦略的な企業誘致を進めることにより、新たな企業立地による雇用の創出、製造品出荷額等の拡大、地元企業との取引拡大・技術力向上等による地域産業の振興を図る。

- ⑥ テレマーケティング関連産業振興事業（商工） 13,182千円
コールセンターにおいて即戦力となる人財、事業所の核となる人財を育成するとともに、県内企業の事業内容の周知・理解を深めるため普及啓発を行う。また、既立地企業が事業拡大に伴う一定規模の求人（20人以上）を行う際に、県内新聞に求人広告を出し、企業の人材確保を支援する。

- ⑦ 機能性素材関連分野における商品開発力強化支援事業（商工） 6,295千円
 地方独立行政法人青森県産業技術センター弘前地域研究所において、県内中小企業へのマーケティングやデザイン等の支援を行うことにより、同研究所のソフト支援機能を強化し、県内中小企業の商品開発力向上を図ることにより、付加価値の高いものづくりの促進を図る。
- ⑧ 建設産業新分野進出ブラッシュアップ事業（県土） 9,310千円
 異業種との連携や、本業で有している経営資源（人・土地・車両等）を有効活用するという視点から、既に実施している建設企業の新分野進出を支援するほか、それらの視点を活用した事業計画を支援することによって、地域産業の形成・活性化を図る。

（２）世界を見据えたヒトとモノの交流促進 【事業数27、事業費451,387千円】

＜北海道新幹線開業を見据えた交流促進＞ 13,175千円

北海道新幹線開業（27年度末）により、新函館から奥津軽・新青森を經由し、弘前方面及び七戸十和田、八戸方面へ駅が繋がる「λ」（ラムダ）の道ができあがることから、このエリア内の交流の活発化とエリア外からの交流人口の拡大に資する取組を進めていく。

- ① λ（ラムダ）プロジェクト推進事業（企画） 10,373千円
 北海道新幹線開業を見据え、津軽海峡交流圏のブランドイメージ構築、情報発信の支援、ワークショップの開催を行うほか、北海道や周辺市町村との政策・施策の検討を行う会議を開催し、津軽海峡交流圏に対する意識醸成を図る。
- ② 青函広域観光推進事業（観光） 2,802千円
 北海道新幹線新函館駅開業を見据え、新幹線、航空機、フェリー等を組み合わせた立体観光を推進し、周遊・滞在型観光の推進と地域相互の交流人口が拡大により、本県の観光力強化につなげる。

＜世界遺産登録に向けた縄文の魅力発信＞ 59,992千円

「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の平成27年度の世界遺産登録に向け、国が推薦するための条件整備を行うとともに、県内外に縄文の魅力を発信する。

- ① 青森EARTHアートプロジェクト事業（観光） 15,402千円
 県立美術館を三内丸山遺跡と一体的に集客・観光交流の核とするため、縄文をテーマとした作品展示などのアートイベントを行う。また、平成25年度に開催されるあいちトリエンナーレ（国際芸術祭）と連携し、FDAを活用した誘客促進を図るとともに、世界遺産登録に向けた他部局の活動と連動して行うことで気運醸成を図る。
- ② JOMON世界遺産登録推進事業（教育） 44,590千円
 「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の平成27年度の世界遺産登録を目指し、世界遺産登録に向けた諸条件の整備と、学術的価値の国内外への浸透に取り組む。

＜アジア（海外）との国際交流・経済交流＞ 218,443千円

成長著しいアジア地域を主なターゲットとして、誘客宣伝、ビジネスの拡大、文化交流活動など、ヒトとモノの交流促進に取り組む。

- ① 青森・ソウル線路線維持安定強化対策事業（企画） 6,432千円
青森・ソウル線の維持・安定、需要回復のため、韓国人脈を強化するとともに、韓国のマスコミ等に対し、青森の安全・安心や魅力をアピールするほか、社会経済情勢の変化に左右されにくい地域間交流や市民交流等の「安定した需要」の確保を図る。
- ② 国際定期便誘致・プログラムチャーター運航促進事業（企画） 10,866千円
東アジア各国との航空自由化が進む中で、東アジアの航空会社等の動きを注視し、機会を逃さずチャーター便等の誘致を行うため、台湾・中国・香港等の航空会社へプロモーションを行うほか、道南地方等と連携しチャーター便誘致を促進する。
- ③ クルーズ船活用インバウンド推進事業（県土） 27,926千円
東アジアをターゲットとして、船社及び船社キーパーソンへのセールス活動を積極的に展開し、外国クルーズ客船の寄港数増加を図る。また、青森港（新中央埠頭）に安全に入港できる客船の限界を知るための調査を行う。
- ④ インバウンド重点エリア誘客事業（観光） 99,070千円
韓国、台湾、中国、香港を重点地域とし、本県の知名度向上や旅行商品の造成支援を行い、東アジアから訪問する観光客の震災前の水準以上への回復に取り組む。
- ⑤ 冬季誘客拡大戦略事業（観光） 14,318千円
東南アジア（シンガポール・タイ）やオーストラリアをターゲットに、本県の冬季観光地としての知名度向上や旅行エージェントとの関係構築による商品開発を図り、誘客拡大を図る。
- ⑥ インバウンド受入環境整備促進モデル事業（観光） 7,803千円
インバウンド促進の気運を醸成し、車内案内の多言語化促進や外国人向け観光バス運行実証など訪日旅行者が本県を来訪しやすい環境を整備することにより、外国人観光客の増加及び外貨獲得を促進する。
- ⑦ クルーズ船活用インバウンド推進事業（観光） 3,002千円
外国クルーズ客船の本県への寄港増及び、それに伴う東アジア地域観光客の増加による外貨獲得を図るため、モデルツアーやマップ作成等に対する支援、船社等へのセールス活動などを行う。
- ⑧ 中華圏ビジネス重点支援事業（観光） 27,528千円
中華圏地域をターゲットとして県内企業の海外ビジネス展開を促進することにより本県経済の活性化を図り、外貨獲得、企業収益の向上、雇用拡大をめざす。
- ⑨ 輸出・海外ビジネス戦略構築事業（観光） 7,303千円
輸出と海外ビジネスの促進のための新戦略を構築し、本県における企業、生産者・事業者の輸出・海外ビジネスへの取組意識を醸成し、取組者の増加やビジネスの拡大を図ることにより、企業、生産者・事業者の所得向上につなげる。

⑩ 在住外国人活用拡大化推進事業（観光） 6,695千円

県内在住外国人を活用し、県内企業でのテストマーケティング等の「交流会」の開催や工場見学、ものづくり体験等の体験型取材の内容をフェイスブック等を通じ海外に発信していくことにより、県内企業の海外取引や海外からの誘客を促進する。

⑪ 日韓パフォーミングアーツ新コンテンツ戦略事業（観光） 7,500千円

韓国の舞台関係者との強い絆をもとに、県立美術館の露出度がアップできる「テジョン文化芸術の殿堂」10周年でのアレコホール再現コンサートの開催や演劇「祝言」韓国公演という平成25年度のチャンスを最大限生かし、韓国広域に県立美術館を大々的に発信するとともに、冬期間の日韓交流パフォーミングイベントの開催により誘客促進を図る。

<安全・安心な県産品の取引促進> 29,200千円

アンテナショップの機能強化や県産材販売人財の育成などにより、情報発信力の強化を行うことにより県産品の取引促進を図る。

① 県産品マーケティング支援事業（農水） 8,600千円

「あおもり北彩館」（東京）の機能の強化を図るとともに、「ジェンゴ」（大阪）・「みちのく夢プラザ」（福岡）における県産品情報発信力を強化する。

② 県産スギ等建築部材利用促進事業（農水） 20,600千円

一般住宅や公共建築物、復興住宅への県産材の利用を促進するため、県産材を建築事業者等に売り込める人財の育成や、消費者等に対し県産材の住宅への利用について普及啓発を図る。

<「観光力」の強化による交流の促進> 130,577千円

コンテンツの磨き上げなど「あおもりの魅力」の創出を行うとともに、誘客宣伝活動や受入態勢を強化するなど交流人口の拡大を図る。

① 移住者受入態勢整備モデル事業（企画） 10,759千円

移住者の受入に積極的に取り組む市町村と連携して、モデル的に受入態勢の整備を行うほか、コミュニティカフェを拠点とした体験ステイの仕組みづくりを行うなど、移住者の受入態勢を強化する。

② 便利な国内航空路線魅力発信・需要創出事業（企画） 14,093千円

青森空港の利用者の減少傾向に対応するため、乗継の利便性を県民に周知するほか、空港までのアクセス改善により利用の少ない県南地域等からの需要の掘り起こし等を行い、空港利用者の増大、交流人口の拡大を促進する。

③ あおもり型交通ネットワーク構築事業（企画） 3,961千円

持続可能な公共交通を中心とした交通ネットワークの構築を実現するため、平成24年度策定の整備指針に基づくアクションプランを策定するほか、県民を対象とするフォーラムの開催などでプランの周知を図る。

- ④ **青い森鉄道新需要創造事業（企画）** 11,524 千円
 沿線内外の交流人口増加、沿線の活性化のため、観光国際戦略局、県民局と連携しながら、沿線資源の戦略的な魅力発信方策を検討・実施することにより、定期券以外の利用（新需要）の拡大を図る。
- ⑤ **青森県グリーン・ツーリズム成長産業化推進事業（農水）** 6,800 千円
 東日本大震災の影響により激減したグリーン・ツーリズム来訪客を早期に回復・拡大させるため、受入団体が主体となる、「青森県グリーン・ツーリズム受入協議会」が、プロモーション活動を強化する。
- ⑥ **新観光戦略構築事業（観光）** 10,521 千円
 現在の観光戦略が平成25年度で終了することに伴い、新戦略を策定し、県民や観光関係者の観光に関する意識醸成、目指す方向への取組促進、観光関連産業の拡大を図る。
- ⑦ **あおもりMICE（企業研修等）誘致促進事業（観光）** 3,880 千円
 企業研修やインセンティブツアーの実現により高い観光経済効果が期待でき、継続実施の可能性が高いといわれる企業研修やインセンティブツアーの誘致に取り組む。
- ⑧ **白神山地20周年記念誘客事業（観光）** 29,072 千円
 白神山地の世界遺産登録20周年を契機として、白神山地の情報発信を強化し、白神山地及び周辺市町村への周遊・滞在型観光の推進と地域相互の交流人口の拡大につなげる。
- ⑨ **教育旅行魅力向上・誘致拡大事業（観光）** 6,356 千円
 震災により本県から行き先を変更した学校（道南、首都圏）の取り戻しと本県へ行き先を変更した学校（東北）のつなぎ止めを行う。また、北海道新幹線開業に伴う既存実施学校のつなぎ止め対策として教育旅行メニューの再編と提案力の強化を行う。
- ⑩ **戦略的観光コンテンツ強化事業（観光）** 33,611 千円
 観光客の県内滞在日数増加や客単価の向上のため、本県の優れた観光資源を活用したハイエンドな旅を開発するなどコンテンツの価値引き上げを行うとともに、女性視点の新コンテンツ開発により他地域との差別化や認知度の向上を図る。

戦略キーワード2 低炭素・循環型社会の実現に向けた取組の強化

【事業数10、事業費101,282千円】

低炭素・循環型社会の実現に向けては、省エネ推進や再生可能エネルギーの導入促進、廃棄物の3Rの推進が必要であることから、本県のポテンシャルが高い風力、太陽光、地中熱、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入促進に向けて、産業振興にもつながるよう、戦略的に取り組みます。

また、本県は全国と比較し県民1人1日当たりのごみ排出量が多く、リサイクル率も低いため、ごみの排出抑制やリサイクル行動に向けた県民運動などにより、循環型社会の実現に向けた取組を強化します。

<再生可能エネルギーの導入促進> 16,669千円

再生可能エネルギーの導入や利用促進に向けた検討などを行うとともに、産業振興にもつながる取組も進めていく。

- ① 木質バイオマスによる再生可能エネルギー導入促進事業（農水） 7,200千円

木質バイオマスを利用した再生可能エネルギーの導入を促進するため、地域の特性を生かした木質バイオマスの活用の可能性を調査検討するとともに、庁内関係者・関係団体等からなる連絡会議を設置し、課題の整理等を行う。
- ② 地中熱利用普及連携体制構築事業（エネ局） 4,367千円

設備メーカーや設計・施工・販売事業者等で構成する研究会を設置し、初期導入コストの低減等、普及促進方策の検討及び関連事業者による連携体制の構築を進めるとともに、一般県民や事業者を対象とするフォーラムを開催し、地中熱利用の促進及び関連産業の振興を図る。
- ③ グリーン電力証書活用太陽光発電普及拡大支援事業（エネ局） 5,102千円

県内におけるグリーン電力証書制度を活用して、太陽光発電設備設置世帯への継続的・安定的な利益還元を促進し、太陽光発電の導入普及を図ることで、関連産業振興や低炭素社会実現に寄与するため、企業及び家庭へ証書制度をPRするほか、県主催行事での率先的な証書活用に取り組む。

<低炭素・循環型ライフスタイルの推進> 84,613千円

ごみの排出抑制、リサイクル行動に向けた県民運動や省エネの推進など、低炭素・循環型社会の実現に向けた取組を強化する。

- ① エコの学びと実践プログラム推進事業（環境） 8,577千円

地域の人財とNPO法人による地域が主体となった環境出前講座を開催するとともに、親子を対象とした環境教育から実践までのフォローアップが可能となるプログラムを開発する。
- ② 中小企業の省エネ型事業モデル創出・普及促進事業（環境） 21,979千円

中小企業の省エネに向けた取組を促進するため、CO₂削減効果の高い省エネ改修・省エネ設備導入を支援し、「省エネ型事業モデル」を創出するとともに、省エネ技術情報等を紹介するフェアを開催する。
- ③ 低炭素型交通社会づくり促進事業（環境） 9,679千円

警察本部と連携してエコドライブと交通安全を一体的に啓発するイベントキャンペーンを開催するとともに、市町村・交通事業者等の連携によるノーマイカー運動につながる先導的取組を支援する。

- ④ **ごみゼロあおもり・3R推進事業（環境）** 11,546 千円
ごみ処理経費やごみ排出量等の将来予測を行い、市町村におけるごみ処理最適化の方策を検討するとともに、もったいない・あおもり県民運動を展開する。
- ⑤ **環境公共を支える低コスト化技術促進事業（農水）** 16,600 千円
環境公共の低コスト化による農地での普及促進を図るため、本県で普及が期待できる新技術を実証するとともに、農業用水を活用した小水力発電の低コスト化技術に関する情報収集及び普及拡大を行う。
- ⑥ **青森港賑わいと潤いのある親水空間創出事業（県土）** 8,802 千円
青森港の環境悪化が指摘されていることから、市民、県民とともに港湾環境向上に取り組むとともに、藻場の再生など港湾環境の改善を図る。
- ⑦ **あおもり方式住宅普及推進事業（県土）** 7,430 千円
青森の風土に対応し、県産材を利用して地元事業者が建設する、省エネなどの品質と価格が明朗な「あおもり方式住宅」のガイドラインを作成するとともに、これを実践する事業者グループ登録制度を創設し、住み手とつくり手の信頼に基づく地元完結型の住宅建築の普及拡大を図る。

戦略キーワード3 あおもり型セーフティネット

【事業数13、事業費248,502千円】

県民の命と暮らしを守るため、健康寿命の延伸に向けた取組や県民一人ひとりが安全で安心して暮らすことのできる環境づくりを進めていく必要があることから、がん・生活習慣病対策や自殺対策、地域医療サービスの充実について、焦点を絞るなど効果的な方法で取り組みます。併せて、社会全体で子育てを支え合う環境づくりや防災対策に引き続き取り組みます。

また、いまだ厳しい雇用情勢に鑑み、雇用のセーフティネットの確保に万全の態勢で臨みます。

<健康づくりと医療サービスの充実> 60,426千円

がん・生活習慣病対策や医師確保対策、医療サービスの充実など、県民が安心して健康に生活を送ることができる仕組みづくりに取り組む。

- ① がんに負けない戦略的がん対策推進事業（健福）**

科学的根拠に基づく効果的な施策を展開していく体制整備の構築を図り、本県のがん登録データ等を分析の上、がん対策に直結する政策研究の実施や、がん予防等に係る市町村等の人材を育成する。

30,000 千円
- ② 健康あおもり21ステップアップ県民運動推進事業（健福）**

「健康あおもり21（第2次）」の初年度として県民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組めるよう関係者間の意思統一を図る大会を開催する。また、循環器病対策として地域における高血圧予防活動の支援を行うほか、将来の生活習慣病予防対策として、若者の生活習慣を調査分析し、今後具体的な施策展開へつなげる。

14,533 千円
- ③ 認知症地域支援体制構築推進事業（健福）**

地域住民が認知症を正しく理解するための講師役となる「キャラバン・メイト」のスキルアップ等を図るとともに、認知症の医療体制や医療連携体制の構築を目的に「認知症サポート医」を対象としたフォローアップ研修を実施する。また、若年性認知症の実態及びニーズを把握し、施策に反映させる。

5,618 千円
- ④ あおもりを担う医療人財確保・定着促進事業（健福）**

医師の県内定着・キャリア形成という次のステージを迎えるに当たり、県外流出する医師一人ひとりの要因を調査・分析し、その対応策を構築すること等により、青森県地域医療支援センターの機能の充実・強化を図る。

10,275 千円

<安全・安心な生活環境づくり> 188,076千円

県民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる環境づくりや雇用の創造などセーフティネットの充実に取り組む。

- ① 緊急時安全安心情報サービスモデル事業（企画）**

緊急時における情報の発信関係者間の情報共有基盤（ルール）を確立するとともに、情報入手ルートの多様化とローカル情報を提供できる体制の構築を図るため、デジタルサイネージを活用した緊急時情報提供システムモデル構築実証実験等を行う。

6,941 千円

- ② **市町村消費生活相談体制強化支援事業（環境）** 4,000 千円
 近隣市町村による広域連携での相談体制の構築に向けたセミナー等の開催や、市町村担当職員の研修などにより、市町村における消費生活相談体制の強化を支援する。
- ③ **安全・安心地域力定着推進事業（環境）** 5,800 千円
 安全・安心に関する地域活動のマニュアル作成や若い世代が参画した実践活動などにより、「防犯」「交通安全」「消費生活」の各分野にまたがる持続的な地域活動を促進する。
- ④ **地域雇用創造支援事業（商工）** 100,000 千円
 国が新たに創設する「地域雇用創造力強化支援プロジェクト（仮称）」を活用し、県の産業政策と一体となって質の高い雇用を創造するための環境整備を図る。
- ⑤ **家畜伝染病危機管理機能強化事業（農水）** 42,300 千円
 平成23年10月に改正された家畜伝染病発生時の国の防疫指針に沿った防疫措置を確実に実施するため、組織体制を強化するとともに、初動防疫や病性検査に必要となる資材・機器を確保する。
- ⑥ **ため池防災・減災対策強化促進事業（農水）** 10,000 千円
 大雨や地震等によるため池の決壊被害が相次いでいることから、ため池管理者の意識向上や点検・監視・保全管理等のレベルの向上を図るとともに、減災対策を進める。
- ⑦ **少年非行防止「心のレベルアップ」事業（警察）** 5,706 千円
 低年齢時からの規範意識向上のためリトルJUMPチームの活動促進を図るとともに、スマートフォンなど新たなツールへの対策強化について検討する。また、これまでの非行防止活動の検証や新たなツールへの向き合い方などを考える機会となるフォーラムを開催する。
- ⑧ **「未来への架け橋」子どもの交通安全推進事業（警察）** 9,716 千円
 中・高校生の自転車マナーアップのため「自転車ルール講習会」を行い交通安全行動の徹底を図る。また、小学生の交通安全強化のため、教育庁と連携し通学路の合同点検を行い、交通安全マップの作成や危険箇所表示板の設置を行うとともに、チャイルドシート使用促進のための講習会を開催する。
- ⑨ **「未来へつなごう」エコ&セーフティドライブ促進事業（警察）** 3,613 千円
 エコドライブを進めるとセーフティドライブにも繋がることから、促進キャンペーンやモデル事業所の取組、講習会の実施を通じて普及と理解を促し、低炭素型交通社会の構築に貢献するとともに、交通事故の減少を図る。

戦略キーワード4 志を持ち、青森県を創造する人財の育成

【事業数19、事業費172,146千円】

人口減少、グローバル化の進展など本県を取り巻く社会経済環境が大きく変化する中、自主自立の青森県づくりを進めていくため、これからの青森県を担う人財の育成の充実が求められるところです。

そのため、ふるさとに愛着と誇りを持ち、語学力を含むコミュニケーション能力などを身に付けたグローバル社会で活躍する人財や、地域資源を活用した創業・起業、ベンチャーなどの新たな分野に挑戦する人財など、目標に向かって意欲的に取り組む人財を育成する取組を充実させます。

また、女性や高齢者などの潜在的能力が発揮される場の創出などに取り組みます。

<国内外で活躍する人財の育成> 121,901千円

ふるさとに愛着と誇りを持ち、志を抱き、グローバル社会の中で青森県の未来を切り拓いていく人財を育成するため、青森を体験し、青森を知る教育やキャリア教育の推進、語学力を含めたコミュニケーション能力の向上などに取り組む。

- | | |
|--|------------------|
| <p>① 高校生のキャリアづくり応援事業（企画）</p> <p>将来、社会人として自立した力を身につけたたくましい人財を育成するため、高校生の企画、取材、編集により、県内社会人に仕事のやりがいなどをインタビューした冊子を作成し、高校生のキャリアづくりを応援する。</p> | <p>6,874 千円</p> |
| <p>② 「グローバル人財養成セミナー」開催事業（企画）</p> <p>人、モノ、金、情報が自由に行き来するボーダーレス化が加速する中、青森県の特長や可能性をグローバルな視野から捉え、国際社会に青森県の強みを発信し、グローバルにチャレンジする高い志を持った人財を育成するため、三沢市と協働でセミナーを開催する。</p> | <p>3,000 千円</p> |
| <p>③ 子ども・若者育成支援総合ネットワーク強化事業（環境）</p> <p>「青森県子ども・若者育成支援推進計画」が本年度策定されることから、社会的自立に困難を有する子ども・若者を支援していくための関係機関相互のネットワークの基盤づくりを行うとともに、県民理解の確保に向けた取組を行う。</p> | <p>6,975 千円</p> |
| <p>④ 次世代ものづくり人財育成事業（商工）</p> <p>次世代を担うこども達のものづくり人財の育成・理解促進のため、県内ものづくり企業の見学・実習会や企業の技術や製品を紹介する出前授業を行うとともに、こども達をはじめとする県民に科学技術やものづくり技術のすばらしさに触れてもらう、ものづくり人財育成イベントへの支援を行う。</p> | <p>12,899 千円</p> |
| <p>⑤ 子ども景観探偵団フォーラム事業（県土）</p> <p>モデル校において、景観探しを行い普段見過ごしている魅力の発見を促し、その内容をとりまとめ、フォーラムを行うことにより、身近な景観を学ぶ機会を提供する。</p> | <p>5,777 千円</p> |
| <p>⑥ 中学生英語力育成事業（教育）</p> <p>学識経験者、民間人、市町村教育長、校長会代表者等による協議会を設置し、本県の英語教育の方向性を示すと同時に、英語教材の充実や教材を効果的に用いた指導方法の検証・改善を行うことなどにより、中学生の基礎的・基本的な英語力や語彙力の向上と教員の指導力の一層の向上を図る。</p> | <p>3,662 千円</p> |

- ⑦ **命を大切にすることを育む教育活動推進事業（教育）** 3,389千円
 モデル校（中学校）において命を大切にすることを育むための体験活動等の実践研究活動や、命の大切さや思いやりをテーマとした公開授業、ワークショップを実施するとともに連絡協議会を実施することにより、豊かな人間性を育み、命の尊さを理解できる子どもの育成を図る。
- ⑧ **豊かな心をはぐくむパーソナルコミュニケーション事業（教育）** 9,275千円
 特別支援学校のモデル校にコミュニケーション推進委員を置き、外部専門家を活用した障害児等一人ひとりに応じた円滑なコミュニケーション手段の開発・活用を推進するほか、最先端の意思伝達手段等について保護者や県民などの理解と啓発を図る講演会を開催する。
- ⑨ **高校生の就職総合支援プロジェクト事業（教育）** 61,102千円
 高校生の就職内定率を高めるため、職業人としての必要な能力を育成する講座等、介護・福祉分野への就職を支援する講習会及び高度かつ専門的な資格の取得や技能の習得を指導する教員研修を実施するほか、県外求人を見つけて新規開拓するローラー作戦や生徒の県外企業訪問を実施する。
- ⑩ **地域の教育力によるたくましい高校生育成事業（教育）** 5,792千円
 高校生が地域を実践研究の場として、地域や企業・団体等の人々とのかわりや、様々な体験活動を実践することにより、社会人、職業人として必要な能力、地域への愛情、社会参画意識等の育成を図る。
- ⑪ **学校発、地域とのつながり形成事業（教育）** 3,156千円
 児童生徒が地域住民とボランティア活動を実施するほかPTAと地域が協働し学習活動や交流事業を行うなど、学校を核として子どもと地域、PTA（家庭）と地域、教員と地域のつながりを強化することで地域の教育力向上を図る。

<地域を支え、牽引する人財の育成> 50,245千円

農業、製造業、観光業など地域産業を支え、牽引する人財育成に取り組む。特に、人口減少社会に対応した女性人財など新たな労働力となる人財の育成を進めていく。

- ① **”癒し”スポット等活用による地域力再生事業（企画）** 13,058千円
 地域資源である”癒し”スポットについて、地域住民が主体的に活用について検討するワークショップの開催や語り部の育成を通じて地域活性化や生業づくりを促進するとともに、これらの取組を中心に、積極的な情報発信を行う。
- ② **人口減少に対応した地域活力創造事業（企画）** 6,000千円
 人口減少・少子高齢化に対応するため、他道県と連携した取組を行うほか、地域が主体となり、新たな生業づくりや地域活動について考えるワークショップや研究会を開催することで、地域力の再生・強化を図る。
- ③ **女性の活躍応援事業（環境）** 8,400千円
 意欲のある女性が能力を高め活躍していけるよう、企業や団体等が主体的に取り組んでいくために必要な女性の活躍「見える化」推進方策を検討するとともに、若手女性を対象にチャレンジする人財を育成する。

- ④ **連携促進型地域コミュニティビジネス支援人財育成事業（商工）** 4,214 千円
 市町村や商工団体を中心に、地域の関係者が連携・協働してコミュニティビジネス（CB）を自立的に発掘・支援していく意識を醸成するとともに、地域住民の自発的な取組を喚起する。さらに、取組の周知を通じて、県内事業者の活動の発展とCBの普及拡大を図る。
- ⑤ **地域連携型起業家創出事業（商工）** 5,630 千円
 県民の創業・起業への関心を高め、ベンチャー精神を育成するとともに、女性の視点や若い力による新たな創業を支援し、女性や若者の社会進出を促す。
- ⑥ **あおもり農地有効活用促進事業（農水）** 2,800 千円
 耕作放棄地の発生を防止するため、モデル集落を設定し、農業者で組織する「農地活用支援隊」が取り組む、農地の利用調整などの活動により、農地の有効利用を図る。
- ⑦ **あおもりツーリズム創発事業（観光）** 5,363 千円
 大学を拠点としたツーリズム推進に向けたネットワーク形成や地域における問題意識の共有と課題解決に向けた取組を行うことにより、地域観光を支える人財の育成を行うとともに、地域資源を生かした観光地域づくりの体制を構築する。
- ⑧ **地域で考え行動する公民館機能活性化事業（教育）** 4,780 千円
 公民館の本来の機能を活性化させるため、公民館職員の資質向上及び地域住民の意識涵養を図るとともに、公民館と地域住民の協働による実践的な研修等を実施するほか、機運の醸成を図るキックオフフォーラムの開催、地域の人財育成プログラムの開発を行う。

基本計画においては、具体の生業づくりに向け、6地域県民局の圏域毎に地域別計画を策定していますが、各地域県民局においては、地域別計画に掲げる「今後5年間の取組の展開方向と重点施策」を踏まえた取組を積極的に展開しています。

(1) 東青地域県民局 9,268千円

- | | |
|---|----------|
| ① 東青地域温泉活用生業の芽づくり推進事業 | 4,138 千円 |
| 東青地域の温泉と地域資源を活用した体験プログラムや関連商品をセットで販売するなど異業種間での連携を促し、「生業の芽」発掘の実証実験を行う。 | |
| ② 道南と津軽・夏泊・下北半島との連携促進事業 | 3,076 千円 |
| 道南地域との人的・経済的な連携強化を図るため、道南地域へのヒアリングの実施や、道南地域と津軽・夏泊・下北地域のネットワークの構築に向けて、4半島で交流・勉強会を開催する。 | |
| ③ 上磯地域のグリーン・ブルー・ツーリズム促進支援事業 | 2,054 千円 |
| 上磯地域の特性を活かしたグリーン・ブルー・ツーリズムを構築するため、体験メニューの立案、販売システムの構築、メニューの情報発信等により、上磯地域グリーン・ブルー・ツーリズムのモデル実践者の開拓と受入体勢の整備・確立を図る。 | |

(2) 中南地域県民局 22,971千円

- | | |
|--|----------|
| ① 中南地域ワカモノ温泉旅促進事業 | 6,457 千円 |
| 大学生等を活用し、20代前半の旅行客に訴求力の高い旅行プランを作成するとともに、Facebook等と連動した管内温泉旅情報発信サイトを構築し、若年層の温泉への誘客を促進する。 | |
| ② 白神の食めぐり観光促進事業 | 4,654 千円 |
| 白神山地周辺の食と観光の結びつきによるコンテンツを検討し、パンフレット等により情報発信し、白神山地を観光資源として再認識させる。 | |
| ③ 津軽伝統工芸マーケティング実践強化事業 | 4,614 千円 |
| 津軽伝統工芸品のマーケティングの強化による商品づくりを進めることにより、販売額の増加に繋げ、併せて成果発表会を実施することで、売れる商品づくり等のノウハウを共有する。 | |
| ④ 「つがるの桃」全国展開支援事業 | 4,930 千円 |
| 生産量の増加と品質向上が実現した「つがるの桃」について、販路がない、情報発信力が弱い、収穫作業や出荷時期が一時期に集中するといった課題を解消し、りんごに次ぐ品目への成長を図る。 | |
| ⑤ 未来へつなぐ中南地域食と農を育む支援事業 | 2,316 千円 |
| 食や農に関する正しい知識を身につけた農業者を育成し、安心・安全な農産物の生産を支える産地体制を強化するとともに、若い世代の食や農に関する理解を深める。 | |

(3) 三八地域県民局 15,452千円

- ① 三八地域次世代ものづくり地場産業育成事業 4,198 千円
将来の地場産業を支え牽引すると見込まれる「金属粉末を核とした関連産業」、「メンテナンス関連産業」の育成・活性化に取り組み、新たな地場産業の形成促進を図る。
- ② 三八地域分散型エネルギーシステム導入推進事業 2,035 千円
分散型電源によるエネルギーシステムに関する普及啓発、地元業者を対象とした技術研修会開催による技術向上を図り、地域への導入と事業参入機会の拡大に繋げる。
- ③ 県南地域障害者農業就労加速事業 2,865 千円
三八地域障害者農業就労促進ネットワークを通じて、農業と福祉の共存共栄、普及・啓発等の取組を推進し、農業分野における障害者就労を加速する。
- ④ さんぱちの木が香る復興住宅づくり支援事業 3,384 千円
地域材活用復興住宅モデル研究会を通じて、震災等被災者のニーズに沿った地域材活用住宅モデルを提案し、復興住宅づくりを支援するとともに地域の林業・木材産業の活性化を図る。
- ⑤ しじみ資源の増大による小川原湖水質改善事業 2,970 千円
シジミの水質浄化機能検証と中間育成による大型種苗放流を通じて、シジミ資源の安定と水質改善により漁業収入の安定を図る。

(4) 西北地域県民局 32,087千円

- ① 白神山地の恵み活用による食農観光連携事業 4,420 千円
白神山地世界遺産登録20周年や秋田グスティネーションキャンペーンを契機として、食・農・観光の関係機関により、白神山地に育まれた山川海里の食のブランド化を推進する体制を構築し、白神山地の恵みを活用した加工食品の開発を行うとともに、白神山地に源を発する食のイベントを開催する。
- ② 五感で楽しむ白神ニューツーリズム推進事業 5,156 千円
白神山地世界遺産登録20周年を契機として、観光コンテンツの発掘・造成を行うことにより「白神ニューツーリズム」を推進するとともに、白神地域の高校生や若手観光関係者を対象とした「白神ニューツーリズム」の担い手を育成するための研修を実施する。
- ③ 津軽半島プロモーション事業 11,608 千円
北海道新幹線奥津軽（仮称）駅の活用促進のため、ショートフィルムの制作・上映等を行い、西北地域を含めた津軽半島の魅力を発信する。
- ④ 西北トッププレーヤーズ育成環境整備事業 3,275 千円
西北地域の地域経済や地域づくりをけん引していく女性を主とする「トッププレーヤーズ」がステップアップできる環境整備を進めるため、先進的なサービスとその秘訣を知り、管内で共有することで全体のレベルアップにつなげていく。

⑤ 西北地域6次産業化コンソーシアム構築事業 3,395 千円
産学官の連携による6次産業化を推進するため、地域の学校・試験研究機関・農業者・商工業者等のネットワーク構築に対する支援を行うとともに、地域の環境条件に合った生産技術の実証や加工品の開発に取り組む。

⑥ ナラ枯れ予防対策モデル事業 4,233 千円
ナラ枯れ被害の受けにくい森づくりに向けて、分散した高齢級ナラ材の所在把握や活用方法の検討を行うとともに、効率的な伐採・搬出手法等を検討する。

(5) 上北地域県民局 22,378千円

① 十和田・奥入瀬ネイチャーナビアプリ製作事業 8,000 千円
観光情報の入手方法の主体となりつつあるスマートフォンの利用者に対し、行きたくなるきっかけと、現地で気軽に学んで楽しめるネイチャーナビアプリケーションを提供し、十和田湖周辺の観光客の入り込みの回復を図る。

② 道南地域からの上北地域誘客促進事業 4,000 千円
十和田・奥入瀬をはじめ、上北地域の観光資源の現状を把握し、観光事業者の連携による既存の観光資源の磨き上げと新たな掘り起こしにより、七戸十和田駅からの十和田・奥入瀬を含めた着地型の旅行商品を造成し、北海道新幹線開業を控えた道南地域から上北地域への誘客を促進する。

③ 健康な牛を育む公共牧場活用推進事業 2,651 千円
公共牧場の新たな有効活用と地域畜産の活性化に資することを目的とし、利用者が低コストであらゆるサービスを平等に享受できる公共牧場のネットワーク化を図るとともに、病気牛等のリハビリ専用牧場の設置やホルモン処理を用いた排卵同期化による人工授精の実施など、様々な状況に柔軟に対応できる公共牧場の管理システムを構築する。

④ 想入れ短角牛肉生産推進事業 6,588 千円
生産者、流通業者、小売店等で構成する短角牛地産地消推進協議会を設置し、今までは難しいとされてきた、1頭まるごと地元消費を定着させるためのコーディネート機能（枝肉部位の販売調整）を充実させた新たな流通体制を整備するとともに、地元消費キャンペーンや消費者アンケートを実施し、地域住民が短角牛に“想入れ”を抱くような、地産地消を支援する。

⑤ 上北・三八ブランド牛高位平準化推進事業 1,139 千円
地域ブランド牛の高位平準化を図るため、肥育技術の指導者を活用した担い手育成と肥育技術の底上げを図る講座や繁殖・肥育一貫経営の推進に向けた研修会を開催する。また、牛肉の美味しさの指標（不飽和脂肪酸含有率）の現状調査及び飼料用米給与により含有率が向上することを実証し、その有利販売についても検討する。

(6) 下北地域県民局 8,550千円

- ① 下北「海の道」魅力発信事業 4,351 千円
平成25年4月の新フェリー「大函丸」就航と平成27年度の北海道新幹線開業を控え、津軽海峡圏での交流人口拡大のため、新たな観光資源を提示し、船を利用した下北観光の魅力を発信する。
- ② キラッと輝く下北のベコツ子作り推進事業 1,311 千円
市場や購買者等のニーズに合った特徴ある下北産肉用子牛作りで地域の肉用子牛の評価向上を図り、下北地域の肉用牛繁殖経営の所得向上と地域の畜産振興を目指す。
- ③ 下北クマハギ被害対策事業 1,333 千円
地域の貴重な財産である森林をクマによるスギの皮剥被害（クマハギ）による価値低減から救い、森林所有者の経営意欲の低下を防ぐとともに、被害木の新たな利用方法を検討し、木材需要の掘り起こしを行う。
- ④ 下北農林水産業連携ビジネス定着支援事業 1,555 千円
生産者の連携による付加価値づくり等をさらに発展させるため、地域コラボマネージャーの育成とコーディネート機能の強化、新たな連携ビジネスの掘り起こし及び地域外への販路拡大等を行う。

新規事業要求分

庁内ベンチャー事業枠

【事業費16,843千円】

- ① あおもり食命人育成事業（農林） 11,855 千円
「あおもりの食のチカラで人を変える・地域が変わる！」をキーワードに、外食・中食などに関わる飲食店や食品製造業者を巻き込んで、県民が健康な食材・料理を選択できる環境を整備する。
- ② 若者からの青森学発進事業～いつか青森に帰ってこいよ～（東青） 4,988 千円
首都圏に在住する若者を対象に「青森県」を常に意識させ、郷土に対する誇りや愛着を芽生えさせ、青森県から離れた若者が将来戻ってくるために必要な環境づくりを行う。

新規事業要求分

未来デザイン県民会議枠

【事業費 13,824千円】

- ① NPO活動基盤強化支援事業（環境） 7,459 千円
認定NPO法人をめざすモデルNPO法人を選定し、市民の「共感（信頼）」を得る活動への支援などを行い、その成果を県内NPO法人へ波及させる。また、認定NPO法人の認定緩和基準の策定のための検討を行う。
- ② 美術館まるごと小劇場展開事業（観光） 6,365 千円
「青森県の昔話」をはじめ、方言を用いたドラマリーディング、絵本の「読み聞かせ」を県立美術館や三内丸山遺跡で行うとともに、「昔話」や「方言」などの伝統的な青森県の文化と現代文化が融合したコンテンツ制作と上演のための人材の発掘・養成を行う。

新規事業要求分

市町村元気事業枠

【事業費 300,000千円】

- ① 市町村元気事業費補助（総務） 300,000 千円
地域特性を活かした地域づくり等を支援するため、市町村が自発的、主体的に実施する事業に要する経費について助成する。

※部局等の略称

総務 : 総務部
企画 : 企画政策部
環境 : 環境生活部
健福 : 健康福祉部
商工 : 商工労働部
農水 : 農林水産部
県土 : 県土整備部
観光 : 観光国際戦略局
エネ局 : エネルギー総合対策局
教育 : 教育庁
警察 : 警察本部
東青 : 東青地域県民局

部局等連携事業一覧

記載P

(1) ラムダプロジェクトの推進	95,613 千円
新 ① λ(ラムダ)プロジェクト推進事業 【企画】	10,373 千円 (P4)
② 「奥津軽駅」ネットワーク構築事業 【企画】	21,905 千円
③ 東北新幹線等時間地図作成事業 【企画】	6,838 千円
新 ④ 新幹線開業効果活用型地域産業創出事業 【商工】	4,439 千円 (P3)
新 ⑤ 青函広域観光推進事業 【観光】	2,802 千円 (P4)
新 ⑥ 道南と津軽・夏泊・下北半島との連携促進事業 【東青】	3,076 千円 (P15)
⑦ 北海道新幹線「奥津軽駅」開業を見据えた戦略事業 【東青】	7,033 千円
新 ⑧ 白神の食めぐり観光促進事業 【中南】	4,654 千円 (P15)
⑨ 中南地域・着地型広域連携観光推進事業 【中南】	4,000 千円
新 ⑩ 津軽半島プロモーション事業 【西北】	11,608 千円 (P16)
⑪ 津軽半島劇場化プロジェクト事業 【西北】	2,534 千円
⑫ 津軽半島観光アテンダント推進事業 【西北】	8,000 千円
新 ⑬ 道南地域からの上北地域誘客促進事業 【上北】	4,000 千円 (P17)
新 ⑭ 下北「海の道」魅力発信事業 【下北】	4,351 千円 (P18)
(2) 白神山地世界遺産登録20周年記念	67,123 千円
① 白神山地を次代へつなぐ保全・活用推進事業 【環境】	23,821 千円
新 ② 白神山地20周年記念誘客事業 【観光】	29,072 千円 (P7)
新 ③ 白神の食めぐり観光促進事業 【中南】	4,654 千円 (P15)
新 ④ 白神山地の恵み活用による食農観光連携事業 【西北】	4,420 千円 (P16)
新 ⑤ 五感で楽しむ白神ニューツーリズム推進事業 【西北】	5,156 千円 (P16)
(3) 縄文世界遺産登録の推進	152,984 千円
① 縄文ムーブメント強化発信事業 【企画】	33,296 千円
新 ② 青森EARTHアートプロジェクト事業 【観光】	15,402 千円 (P4)
新 ③ JOMON世界遺産登録推進事業 【教育】	44,590 千円 (P4)
④ 三内丸山遺跡魅力アップ推進事業 【教育】	40,537 千円
⑤ JOMON世界遺産パワーアップ事業 【教育】	19,159 千円
(4) 教育旅行の誘致促進と受入体制構築	8,224 千円
新 ① 教育旅行魅力向上・誘致拡大事業 【観光】	6,356 千円 (P7)
② 下北教育旅行受入体制構築事業 【下北】	1,868 千円

(5) 海外との交流人口拡大	183,180 千円
新 ① 国際定期便誘致・プログラムチャーター運航促進事業 【企画】	10,866 千円 (P5)
新 ② 青森・ソウル線路線維持安定強化対策事業 【企画】	6,432 千円 (P5)
③ 青森・ソウル線週4便復便対策事業 【企画】	5,375 千円
新 ④ インバウンド重点エリア誘客事業 【観光】	99,070 千円 (P5)
新 ⑤ 冬季誘客拡大戦略事業 【観光】	14,318 千円 (P5)
新 ⑥ インバウンド受入環境整備促進モデル事業 【観光】	7,803 千円 (P5)
新 ⑦ 日韓パフォーミングアーツ新コンテンツ戦略事業 【観光】	7,500 千円 (P5)
⑧ 演劇「祝言」日・中・韓共同制作事業 【観光】	27,716 千円
⑨ 上北地域インバウンド受入体制強化事業 【上北】	4,100 千円
(6) クルーズ活用インバウンド	30,928 千円
新 ① クルーズ船活用インバウンド推進事業 【県土】	27,926 千円 (P5)
新 ② クルーズ船活用インバウンド推進事業 【観光】	3,002 千円 (P5)
(7) 中京圏交流人口拡大・外貨獲得	29,698 千円
① 青森・名古屋線定着促進事業 【企画】	4,286 千円
② 中部エリア販路拡大推進事業 【農水】	8,167 千円
③ 観光客誘致総合推進事業（名古屋地区情報発信強化事業） 【観光】	17,245 千円
(8) 農商工連携による食品加工業等の集積	89,103 千円
新 ① 農工連携成長産業化支援事業 【商工】	10,614 千円 (P1)
② 地域ぐるみ型農商工連携支援事業 【商工】	7,460 千円
新 ③ りんごニーズ対応型ビジネス拡大事業 【農水】	4,900 千円 (P2)
新 ④ 業務用加工食品利用拡大支援事業 【農水】	4,600 千円 (P2)
⑤ あおもり食産業づくり加速化事業 【農水】	9,170 千円
⑥ 青森県食品産業力強化対策事業 【農水】	52,359 千円
(9) 低炭素ものづくり振興	49,402 千円
① 低炭素型ものづくり産業振興事業 【商工】	46,574 千円
② 三八地域企業「革新力」強化事業 【三八】	2,828 千円
(10) 植物工場の推進	14,060 千円
① 植物工場関連産業支援事業 【商工】	11,478 千円
② 寒冷地型植物工場モデル総合実証事業 【農水】	2,582 千円

(11) 安全・安心情報発信	44,515 千円
① 流通食品の放射性物質検査事業 【健福】	4,171 千円
② 県産農林水産物の放射性物質調査事業 【農水】	40,344 千円
(12) 地域ブランド牛ネットワークの構築	22,207 千円
新 ① 新技術を活用した和牛産肉能力向上対策事業 【農水】	10,000 千円 (P2)
② 三八・上北地域ブランド牛生産力強化事業 【三八】	2,200 千円
③ 西北らしい肉牛づくり推進事業 【西北】	969 千円
新 ④ 想入れ短角牛肉生産推進事業 【上北】	6,588 千円 (P17)
新 ⑤ 上北・三八ブランド牛高位平準化推進事業 【上北】	1,139 千円 (P17)
新 ⑥ キラッと輝く下北のベコッ子作り推進事業 【下北】	1,311 千円 (P18)
(13) 省エネ推進	42,438 千円
① 消費電力見える化サービスを活用した家庭の省エネ促進事業 【企画】	4,000 千円
新 ② 中小企業の省エネ型事業モデル創出・普及促進事業 【環境】	21,979 千円 (P8)
③ エネルギーリスク緊急対策・省エネ設備等導入促進事業 【環境】	10,114 千円
④ 家庭の消費電力見える化・省エネ促進事業 【環境】	1,845 千円
⑤ あおもリエコアクション推進事業 【環境】	4,500 千円
(14) 再生可能エネルギーの導入推進	39,737 千円
① バイオコークス産業創出促進事業 【商工】	5,710 千円
新 ② 木質バイオマスによる再生可能エネルギー導入促進事業 【農水】	7,200 千円 (P8)
③ 再生エネルギーロード推進事業 【県土】	1,090 千円
新 ④ グリーン電力証書活用太陽光発電普及拡大支援事業 【エネ局】	5,102 千円 (P8)
新 ⑤ 地中熱利用普及連携体制構築事業 【エネ局】	4,367 千円 (P8)
⑥ 再生可能エネルギー産業ネットワーク形成推進事業費 【エネ局】	5,782 千円
⑦ 海洋エネルギー関連産業創出事業 【エネ局】	10,486 千円
(15) エコ&セーフティドライブの推進	13,292 千円
新 ① 低炭素型交通社会づくり促進事業 【環境】	9,679 千円 (P8)
新 ② 「未来へつなごう」エコ&セーフティドライブ促進事業 【警察】	3,613 千円 (P11)
(16) 生活習慣病対策	18,202 千円
① 糖尿病対策を切り口としたヘルスリテラシー定着事業 【健福】	12,692 千円
② あすなろっ子健康生活改善大作戦事業 【教育】	5,510 千円

(17) 高校生のキャリア教育	77,603 千円
新 ① 高校生のキャリアづくり応援事業 【企画】	6,874 千円 (P12)
新 ② 高校生の就職総合支援プロジェクト事業 【教育】	61,102 千円 (P13)
新 ③ 地域の教育力によるたくましい高校生育成事業 【教育】	5,792 千円 (P13)
④ 高校生のための志ガイダンス事業 【教育】	3,835 千円
(18) グローバル社会で活躍する人財の育成	11,154 千円
新 ① 「グローバル人財養成セミナー」開催事業 【企画】	3,000 千円 (P12)
新 ② 中学生英語力育成事業 【教育】	3,662 千円 (P12)
③ 英語カステップアップ推進事業 【教育】	4,492 千円
(19) 女性人財の育成	28,457 千円
① 人づくりのメッカ創出事業 【企画】	11,152 千円
新 ② 女性の活躍応援事業 【環境】	8,400 千円 (P13)
新 ③ 地域連携型起業家創出事業 【商工】	5,630 千円 (P14)
新 ④ 西北トッププレーヤーズ育成環境整備事業 【西北】	3,275 千円 (P16)